

## 市民活動助成金報告書

団体名	武芸川音楽祭実行委員会			
事業名	第1回武芸川音楽祭			
事業費	538,074 円			
助成金交付額	333,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市武芸川町では、あまり音楽イベントが開催されておらず、地域住民の人が音楽（特にジャズや演歌など）の生演奏に触れる機会が少ない。武芸川に関係する人たちによる演奏会を行なうことで、住民の皆様にも音楽に親しんでいただくとともに、地元ファンの増加に寄与すること。また音楽を通じて地域と出演者相互の親睦を図ることを目的とする。</p>			
事業概要	活動の対象者	関市民ならびに武芸川町に隣接する地域の皆さん		
	活動の場所	武芸川町生涯学習センター 大ホール		
	事業期間	令和6年4月1日 ～ 令和6年7月31日		
	具体的な活動内容	<p>武芸川町小知野の住人 磯野博宗氏が関係するビッグバンドが出演。                      1) 12:30 Jazz Heats Orchestra (各務原)                      2) 13:30 フォレスト (岐阜)                      3) 14:30 恵比寿バンド (関市洞戸)                      4) 15:30 SJCジャズオーケストラ (岐阜)                      を招き、コンサートを行った。                      各バンド持ち時間1時間(出入り含む)の枠内でそれぞれのバンドの持ち味を發揮していただいた。総観客数のべ1200名の皆さんに楽しんでいただいた。途中、関市のキャラクター「ぶう」も登場して会場を盛り上げていただきました。</p>		
事業の効果及び成果	<p>当日は、どの時間も満員のお客様に来ていただき、大変喜んでいただけた。会場は晴天になり、外気温が30度を超えるなど大変暑い日であったが、熱中症にかかる人も無く、無事に終了することが出来ました。出演者も皆さん大変喜んでいただきました。また、関市のキャラクター「ぶう」が来てくれて会場を盛り上げていただきました。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>*熱中症の大作を施したが、水分や塩飴などを用意して誰も熱中症にかかる人がなかった。                      *音響 (PA) に業者を依頼する事が必要。舞台設営などに課題が残った。                      *4時間という時間が長いという指摘があったが、再入場も可能にするなどの配慮が必要。</p>			
団体情報	代表者名	磯野博宗	所在地	関市武芸川町小知野226-1
	電話番号	090-6517-0967	Eメール	<a href="mailto:isono2586jp@gmail.com">isono2586jp@gmail.com</a>
	HP	なし Facebook「武芸川音楽祭実行委員会」		



会場入り口



当日のチラシ



関市キャラ「ぶう」も登場



Jazz Heats Orchestra



Forest



恵比寿バンド



SJC ジャズオーケストラ

## 市民活動助成金報告書

団体名	高齢者福祉美容療法会			
事業名	いきいきビューティープロジェクト			
事業費	761,000 円			
助成金交付額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>関市の要支援者が増加していること。令和7年に、団塊の世代の全ての人が75歳以上の高齢者となり、後期高齢者が益々増加すること。介護サービスを含む高齢者ケアの需要が増加・多様化すると予想されることから、いつまでも笑顔で元気な高齢者でいてもらうために美容療法を開催する。関市の高齢者のフレイルを美容療法で予防する。高齢者の生きがいを作り出し、高齢者の健康寿命を延伸させる。美容療法で脳を活性化させ、身体を動かす事でQOL, ADLをアップさせる。キレイになる事で周りとの交流し、笑顔が増える。そして出かけたくなる。介護する人の負担を軽減することなどを目的に開催した。</p>			
事業概要	活動の対象者	市内高齢者（男性も同様に楽しめる）		
	活動の場所	市内高齢者施設、高齢者の集まる所		
	事業期間	6年 4月 1日 ～ 7年 3月 31日		
	具体的な活動内容	<p>関市の高齢者施設を1件ずつアプローチし、美容療法をご理解いただく。施設様と日程調整をして事前打ち合わせの後に開催する。全工程を50分で行う。開催1時間前に入館、参加人数、介護度に応じて会場の形式を変える。福祉美容師、介護福祉士の資格を有する三浦が、適宜高齢者に声をかけながら進行する。実施の流れ、初めにご参加の方とコミュニケーションしながら、開始時間となったら、挨拶から始める。まずお化粧品に必要な筋肉のストレッチ、手指消毒、鏡を立て、エプロンなど身支度を整える。クレンジングシートで顔を拭き取り、美容液でマッサージと口腔ケアをした後、下地、ファンデーションを塗布。ファンデーションは簡単にキレイにつける方法を、楽しいリズムで行う。眉を描く。形を描いたり、色を選ぶ事で脳を活性化。次に口紅を選びつける。華やかになり、交流が活発になる。笑顔が増え、話が弾む。周りの方と褒めあう事で笑顔が増える。介護度に合わせた写真撮影。美容療法終了後、その場で美肌モードにセットしたプリンターでプリントアウトしてプレゼントする。</p>		
事業の効果及び成果	<p>高齢者のフレイル予防につながった。キレイになって笑顔が増え、心も元気になり健康寿命の延伸につながった。美容をきっかけに、高齢者施設の利用者とその家族、スタッフの交流が図られた。施設スタッフも合わせて楽しみ、美容療法の効果を感じて関心を持つ方が増えた。アンケートにおいて、嬉しいコメントをたくさんいただき、有用性を強く感じた。開催件数目標36件達成見込み、参加人数1月時点で435人。参加者アンケート結果から、また開催して欲しいという項目は、100%の回答であった。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>アンケート結果から、たくさんの方に本当に喜んでいただけたと感じたので、来年度も続けて開催して行きたい。このプロジェクトを始めるにあたり、施設様に美容療法の説明、開催交渉・日程調整を、1件ずつ行う必要があったため、開催にこぎつけるまで時間を要した。コロナやインフルエンザの感染を警戒して、外部を入れない施設様もあった。最小人数で来て欲しいとの依頼もあり、計画していた学生の福祉体験が出来なかった。感染の増える冬は、マスクを外さずできるメニュー（ハンドマッサージなど）が必要と感じた。</p>			
団体情報	代表者名	三浦みよし	所在地	関市大平町3-26
	電話番号	070-9211-1183	Eメール	<a href="mailto:sekisb1183@gmail.com">sekisb1183@gmail.com</a>
	HP			



市民活動助成金報告書

団体名		むつびと		
事業名		健診茶屋		
事業費		765,000 円		
助成金交付額		500,000 円		
活動の背景にある課題・活動の目的		<p>富岡地域は、旧来から地域に居住する高齢者世帯もあれば、岐阜医療科学大学の学生やアパート等の集合住宅に居住する若者世代が暮らす地域でもある。若者世代には、地縁のない言わば「よそ者」も多く居住しており、高齢者世代とのコミュニケーションギャップを抱えている。</p> <p>また、地域委員会等のまちづくり団体は「高齢化」が進んでおり、企画のアイデア出しや後継者育成に課題を抱えている。これまで富岡地域と岐阜医療科学大学（および大学生）が協働して取り組んだプロジェクトは決して多くない。</p> <p>本事業は、健康というテーマで住民を相互に繋げ「地域の高齢者と若者の接点が少ない」という課題に取り組む。</p> <p>本事業は「健康」というキーワードで、人と人をつなげ、下記を達成することを主な目的とする。</p> <p>① 地域住民がいそいそと健康に過ごせる場「健診茶屋」を開催する                  ② 地域住民の健康意識を高める                  ③ 地域の高齢者と若者の接点をつくり出す                  ④ 地域と大学が連携し、若者が地域活動に参加しやすい状況をつくり出す                  ⑤ 地域×大学×病院が連携し協働しながら、地域住民の健康と福祉を増進させる                  ⑥ 若者の地域参加をもっと簡単にする                  ⑦ 高齢者が若者に話しかけやすい状況をつくり出す                  ⑧ 地域住民の絆を深める</p>		
事業概要	活動の対象者	20代～90代		
	活動の場所	富岡公民センター、ほほえみ栄町		
	事業期間	令和 6年 6月 13日 ～ 令和 7年 2月 13日		
	具体的な活動内容	<p>第1回 地域の居場所作りに取り組む、かみなかサロンと合同開催。かみなかサロンのスタッフさん、岐阜医療科学大学の学生さんと関中央病院の先生と一緒にいった。大学生の方々には、血管年齢チェック、中央病院の先生には、健康相談を行って頂いた。下之保で作っている、やさいスナック、揖斐・春日の百草茶を提供し、お茶を飲みながら、沢山の方との地域交流の場を創出。 日時:6月8日(土) 9時～11時 場所:富岡公民センター 参加者:全体 50人 (うち、血管年齢チェック実施をした人:30人 スタッフ:15人 )</p> <p>第2回 認知症カフェの企画としてほほえみ栄町と協働開催。関中央病院の先生やほほえみ栄町のスタッフさんと一緒にいかない、日頃の健康の悩みなど情報交換の場を創出。また、揖斐・春日の百草茶を提供した。 日時:2月13日(木) 14時～16時 場所:ほほえみ栄町 参加者:15人 (うち、スタッフ:5人)</p>		
事業の効果及び成果	<p>合計参加者:45名</p> <p>*普段、一人で生活してる高齢者が気軽に集まり、会話を楽しめた。                  *現役医師や学生さんと直接話す事で健康に関心が高まった。                  *参加者同士の交流が生まれた。また、地域と大学、病院が繋がることで今後の協働プロジェクトを行う体制づくりをすることができた。                  *健康茶(薬草茶)への関心が高まった。                  これらの活動を通して、関市全体の健康意識と協働体制を向上させることができた。</p>			
今後の取組・改善事項	<p>*講義や試験、長期休暇などと重なり、地域の方々との日程調整が大変だった。そのため、今後は、予め活動日を抑えてもらうなどをして工夫したい。                  *今後は更に、医療機関やボランティアさんの協力を強化させていきたい。                  *参加者が固定化されてしまっていたので、気軽に参加できる工夫を模索したい。                  *地域のふれあいセンターや自治会、地域企業など様々なプレイヤーと連携しながら今後も活動を模索していきたい。</p>			
団体情報	代表者名	酒井 理絵	所在地	関市肥田瀬888-8 工房上田 内
	電話番号	090-4118-5249	Eメール	s20060913@gmail.com
	HP	mutsubito.com		



## 市民活動助成金報告書

団体名		NPO法人自然, 生活共生会	
事業名		紙芝居で桜の名所や、武芸川町の生い立ちを伝える活動	
事業費		390,334 円	
助成金交付額		260,334 円	
活動の背景にある課題・活動の目的		<p>1) 70年前、寺尾ヶ原一帯を杉を植林することが決定された。雪に悩んでいた地元住民は冬季陸の孤島をおそれ、修正案を提出、内容は「県道両端から5間は植林せず桜を植えて冬季日照を確保する、これが認められ桜が植えられ、桜の名所となった。</p> <p>2) また、そのころ3つの村の合併問題で、中央の東武芸村が何方かを選ぶことになって、交流の深い西の村ではなく、400haの山を共有する南の村を選びました。山の資力で子供たちの教育向上を図る意見が通りました。 当時植えた杉が伐期を迎え、忘れられた「教育の向上」を今によみがえさせ「子供の森づくり」をテーマに山づくりを進めている。先人の思いを後の世に継承させることを目的とする。</p>	
事業概要	活動の対象者	児童、生徒及び一般住民	
	活動の場所	関市及び武芸川町内	
	事業期間	令和6年 5 月1 日 令和7年2月 月 25 日	
	具体的な活動内容	<p>紙芝居作成の委託者が次から次に変更。</p> <p>1 森林組合職員と森林アカデミーの生徒たち（過去に作成歴あり） 「森と海は一つ」</p> <p>2 TBSのOBで「日本昔話」担当ディレクターに依頼 品川駅で2回打ち合わせを行うが、絵描きの方が入院し死去された（過去に作成歴あり） 「松根事件と止山騒動」</p> <p>3 関の紙芝居「孫六座」の紹介を受け、語りの骨子は出来上がり、子供向けへの校正を教諭OBに依頼し、出来上がる。</p> <p>4 絵描きは孫六座の方が突然入院されたので、他の方数人あつた後、岐阜市の方（一宮）の紹介を受け、2月24日に完成する。</p> <p>5 公演は今後武芸小、博愛小、福祉センターで行う予定。</p>	
事業の効果及び成果		<p>1 絵描きが見つからず、そのため多くの人と接しられ、多数のアドバイスが頂けた。そのため完成度が高められた。</p> <p>2 活動中に名和昆虫博物館との交流ができ、第一回の観察会を行う。 今後定例化することで合意</p> <p>3 子供向けにシンプル化に努めたことが大人にも理解され安くなったことが判明し、各分野への説明がしやすくなった。</p> <p>4 田舎の小さな活動が継続することで、外国人が見に来てくれる場所となるうことを子供たちに伝えられる。</p>	
今後の取組・改善事項		<p>○講演計画 博愛小学校 武芸小学校 福祉センター *ある校長曰く「社会活動する大人の後姿を子供が見ることが最も良い教育である」 その姿をいかに作るか。</p> <p>○中学生へのアプローチ めぐみの森づくりに中学生を巻き込む。 *卒業記念植樹を提案</p> <p>○紙芝居の英語版の作成 実施予定</p> <p>○各種イベントの継続と、新規のものの検討 (*登山大会：コロナ過以前実施これを再行 *キノコ狩り、6年度実施 *昆虫観察会 6年度実施 * 登山道の新設)</p>	
団体情報	代表者名	井上好郎	所在地 関市武芸川町谷口2336
	電話番号	090-6099-5412 : 37-2456	Eメール <a href="mailto:ino-yomi@cameo.plala.or.jp">ino-yomi@cameo.plala.or.jp</a>
	HP		

## 財産区500haと武芸川町誕生の由来

S27年3つの村の  
合併問題発生



南と西は3つの村の  
合併に反対

昭和27年2月28日

東が何方かを選ぶ  
かの村民大会が  
開かれた。



「子供たちの教育向  
上を図り、立派な  
人材を世に出そう」。



子供の森構想へ



## 市民活動助成金報告書

団体名	医療的ケアの必要な重症心身障がい児支援を考える会			
事業名	「ぼくのお姉ちゃん」の絵本作成と読み聞かせ活動			
事業費	1,164,373 円			
助成金交付額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<p>私たちは、絵本「ぼくのお姉ちゃん」を作成することを通して、関市が「医療的ケアの必要な重症心身障がい児」とその家族にとって、これからも住み続けたいと思える町となることを願っています。具体的な願いは下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関市に住む人々が「医療的ケアの必要な重症心身障がい児」とその家族の存在に気付き、理解し、共に地域で暮らせるようになること。そして、この街に住む人々が、どんな人に出会った時も、温かい眼差しを送れるようになること。</li> <li>・関市の保育、教育、医療・リハビリ・福祉サービス等について、関心をもつ人が増えること。</li> <li>・「医療的ケアの必要な重症心身障がい児」とその家族が、地域で安心して生活するために必要な、福祉助成金、福祉サービス、医療・リハビリ支援などの、社会資源や人的資源を整えるための活動のきっかけとなること。</li> </ul>			
事業概要	活動の対象者	関市民と関市で働き、学び、活動する方々		
	活動の場所	関市全域		
	事業期間	令和6年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日		
	具体的な活動内容	4月 原案作成 7月 支援希望者が多く、600冊に変更 8月 印刷会社とすり合わせ 発注 9月 絵本完成 10月 関市長に絵本完成の報告と絵本贈呈 市内の子どもに関する施設に配架開始 完成した絵本を使って、読み聞かせ活動開始 12月 市内の子どもに関する施設等に無償配架完了 2月 会員および支援者による読み聞かせや講話を継続		
事業の効果及び成果	①絵本の読み聞かせ（一般向け）※把握できた数のみ ・小中学校（100校以上）、保育園（30園以上）、児童発達支援事業所（20箇所以上） ②絵本の読み聞かせおよび講話（専門職および学習者向け） ・中部学院大学（90人程度）、・聖徳学園大学（50人程度） ・生涯学習課「じょうずなおせっかい養成講座」（30人程度） ③絵本の無償配架（合計201か所紹介。181冊無償配架） ・市内185か所に絵本の紹介。160冊配架。 ・市外16か所、21冊無償配架。（近隣地域の図書館、行政機関など） ④支援者による絵本配架や紹介等 ・経営しているお店や会社の事務所、受付などに配架し来場者に紹介。 ・家族で読み合い話し合うと共に、親類や友人、知人などに紹介。 ・専門職の方が、市外や県外にて絵本の紹介や読み聞かせ、講演会を実施。			
今後の取組・改善事項	◎無償配架後の効果や感想を把握する。 ◎読み聞かせの継続。 ◎講演会の計画。			
団体情報	代表者名	武藤 修	所在地	関市洞戸市場366番地
	電話番号	090-7028-1146	Eメール	<a href="mailto:syu.mori.comocat@docomo.ne.jp">syu.mori.comocat@docomo.ne.jp</a>
	HP			

## このチラシを絵本ともに、配布しました

令和6年10月吉日

各位

医療的ケアの必要な  
重症心身障がい児支援を考える会  
(ももちゃん応援団)

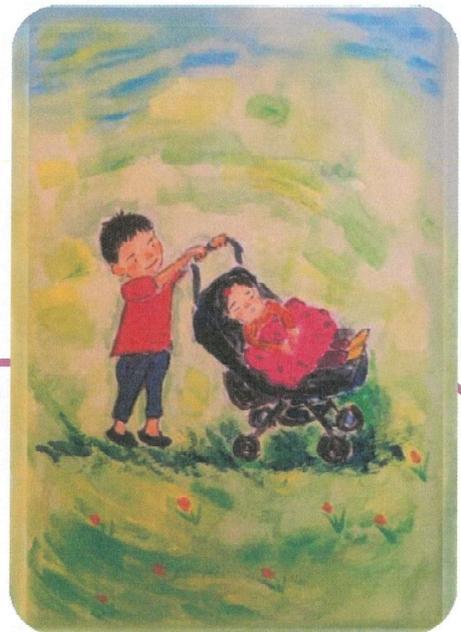
深秋の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、本会より絵本「ぼくのお姉ちゃん」を発刊することとなりましたので同封させていただきます。

この絵本は、私たちの会の趣旨に賛同し応援して下さる方々のご支援と、関市市民活動助成金を活用して制作しました。心よりお礼申し上げます。

絵本に込めた私たちの願いをみなさんに広く知って頂きたいと思い、新聞記事を掲載させて頂きました。新聞社には許可を得ております。

ご拝読いただき、医療的ケアの必要な重症心身障がい児支援について考えるきっかけとしていただければ幸いです。



### 【学校でのスピーチを絵本に】

関市児童発達支援センター50周年記念誌に、クラスの友だちに向けた匡祐さんのスピーチのメモが掲載されていました。それは、“ぼくたちはみんなと同じ普通の家族、きょうだいなんだ。おねえちゃんのことを知ってほしい”という想いでした。私たちはこのメッセージに絵を添え、さまざまな人たちに広く長く読んでいただき、この街が誰もが住みやすく、挨拶をかわすことができる優しい街になってほしいと願い絵本を作りました。

この絵本を通して、匡祐さんと百香さんの想いと  
私たちの願いが多くの人に届きますように

市民活動助成金報告書

団体名	ご当地美食音マーケット実行委員会			
事業名	関市カウントダウンライブ			
事業費	780,660 円			
助成金交付額	500,000 円			
活動の背景にある課題・活動の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関市の抱える若者の流失の問題。若者が関市に戻ってくる年末年始に若者が集い楽しめる場所がないという課題</li> <li>・地域の活性化。若者が帰省するきっかけを作り、若者同士が集い郷土愛を育んでもらうこと。そして、Uターンを推進していく。</li> </ul>			
事業概要	活動の対象者	関市出身の若者		
	活動の場所	中濃交通の前の道路 関市本町6丁目		
	事業期間	2024年 4月 1日 ~ 2025年 1月 31日		
	具体的な活動内容	<p>実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日時：2024年12月31日（火）18:00～24:00</li> <li>・実施場所：中濃交通の前の道路</li> <li>・活動内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 12組のインディーズアーティストによるライブ演奏</li> <li>○ 3店舗の地元キッチンカーによる飲食提供</li> <li>○ イベントの様様をYouTubeライブ配信</li> </ul> </li> </ul> <p>実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数：累計400人</li> <li>・ライブ配信再生数：1030回再生（2025年1月24日時点）</li> <li>・参加者の反応：SNSでアーティストの写真と共にシェアが行われ、オンライン上でもイベントの反響が見られた。</li> </ul>		
事業の効果及び成果	<p>目的達成：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の魅力を発信し、「関市で面白い活動を行なっている」というPR効果を得た。</li> <li>○ 協賛を多く集め、地域を巻き込んだイベントを実現した。</li> </ul> <p>地域への影響：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元離れを防ぎ、若者が楽しめる街であることをアピールした。</li> </ul>			
今後の取組・改善事項	<p>課題：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の参加が想定より少なかった。</li> <li>・開催場所が人通りの少ないエリアであった。</li> <li>・スタッフ体調不良で準備が円滑に進まなかった。</li> </ul> <p>改善点：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用強化を図り、若者への周知を徹底する。</li> <li>・テレビやラジオなど、情報発信のメディアを増やす。</li> <li>・人通りの多い場所での開催を検討する。</li> <li>・スタッフの事前準備を徹底し、多めの人数で運営体制を強化する。</li> </ul> <p>今後について：</p> <p>カウントダウンイベントを来年も行っていき、関市でのカウントダウンイベントを定着し、地域活性化を行っていきたい。</p>			
団体情報	代表者名	吉田宰志	所在地	関市観音前41番地
	電話番号	9078631506	Eメール	s-yoshida@sekimilk.co.jp
	HP			

# 活動の様子



市民活動助成金報告書

団体名	関市まちづくり協議会			
事業名	関市の地域活動ポータルサイト立ち上げと運用			
事業費	450,000 円(予定)			
助成金交付額	300,000 円			
活動の背景にある課題、活動の目的	<p>昭和50年代より、市民主導で関市のさまざまな団体と繋がりながら事業を進めている関市まちづくり協議会だが、ここ数年「活動はしているが広報が不足」「新しい層に団体の特性や強みを届けられていない」等の課題を聞く。この課題を解決すべく、地域活動について情報を集約するポータルサイトを立ち上げる。団体側の発信および受信の労力を削減、また市民にとって一箇所で複数団体の情報を得られる等の利便あり、各活動の認知拡大および市民の活動参加増を狙う。</p> <p>関市まちづくり協議会としても、引き続き加盟団体の存続と増加をサポートしながら、種多様な意見や地域課題を吸い上げ、その解消に向けた活動を目指していきたい。</p>			
活動の対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>関市の団体（市民活動団体、経済団体など全て）</li> <li>サイトを閲覧できるのは関市民および関市外もすべて</li> </ul>			
活動の場所	オンライン（打ち合わせは対面でも実施）			
事業期間	2024年5月1日～2024年3月31日			
事業概要	<p>2024/5/1～：計画立案（要件定義、スケジュール）</p> <p>2024/5/28～：ITの仕事がないと言われる関市（岐阜）でもITに関われる機会を提供できる、と「関市でデザイナーやエンジニアを公募しチーム編成」を狙うが、ほとんど集まらず。</p> <p><a href="https://www.seki-mk.net/2024/05/blog-post.html">https://www.seki-mk.net/2024/05/blog-post.html</a></p> <p>→知人友人に声がけなど、人海戦術でメンバー相談。</p> <p>2024/8：メンバー決定し、サイト方針について打ち合わせ</p> <p>2024/9/28～：サイトを公募（中日新聞等にも掲載いただきました）</p> <p>2024/10～：全11集まったサイト名案で投票開始、サイトのワイヤーフレーム（コンテンツと配画）の叩き台を作成</p> <p>2024/11/2：投票の結果、サイト名は「せき情報局」に決定</p> <p>2024/11/19：サイトのロゴやカラーを決定</p> <p>2024/11～2025/2：サイトのデザイン、サーバーとWordPress準備</p> <p>2024/12～2025/3（予定）：サイトの実装</p> <p>2024/2～：広報ツールの作成</p> <p>2024/2中～：投稿マニュアルの作成、テスト</p> <p>2024/3中（予定）：リリース、広報開始</p>			
事業の効果及び成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域活動のポータルサイト「せき情報局」を、関市に関わるメンバーのロゴやデザインを用いて、立ち上げることができた。</li> <li>広報については今後の取り組みとなるため、引き続き報告する。</li> </ul>			
今後の取組・改善事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>「せき情報局」に投稿する団体を増やす。</li> <li>「せき情報局」の認知度、利用度を上げる。</li> <li>関市でITの仕事（プログラム、デザイン等）に関わりたい人を発掘し、チームを編成する。</li> </ul>			
団体情報	代表者名	吉田幸志	所在地	関市東日吉町43-1
	電話番号	090-7863-1506	Eメール	seki.mk.net@gmail.com
	HP	<a href="https://www.seki-mk.net/">https://www.seki-mk.net/</a>		

